

令和7度 学校関係者評価委員会 報告書

内子町立大瀬小学校 校長 武岡 伸司

教育目標 豊かな人間性を持ち、たくましく生きる大瀬っ子を育てる 経営の重点 明るく元気なあいさつのできる児童の育成 自分にも人にもやさしい児童の育成 最後までやりぬく、たくましい児童の育成
--

評価 (A・・・順調 B・・・おおむね順調 C・・・あまり順調でない D・・・順調でない)

	具体的項目	取組 自己評価 外部アンケートの結果	成果・改善	関係者評価委員の 評価・意見等	評価
1 学校教育目標	○学校は、「児童が楽しく通える学校づくり」に努めている。 ○学校は、「明るく元気なあいさつのできる児童」の育成に努めている。 ○学校は、「自分にも人にもやさしい児童」の育成に努めている。 ○学校は、「最後までやりぬくたくましい児童」の育成に努めている。	○取組 ・校訓、教育目標を生かした学校づくり ・教育活動の見直し ・校長講話、学級指導の充実 ○評価結果 教職員の肯定的評価(91%) 児童の肯定的評価(93%) 保護者の肯定的評価(96%)	【学校教育目標】 ・教職員、保護者、児童のいずれにおいても肯定的な評価が高い。 ・委員会活動を中心に朝のあいさつ運動を積極的に行った結果、明るく元気なあいさつのできる児童が増えたと考えられる。あいさつ運動の取り組み方を工夫するなどした結果が現れている。活動がないときにも元気なあいさつができるようにしたい。また、校外の方へも元気づけあいさつができるように努めていきたい。	・朝の登校時に声を掛けるときには、元気なあいさつを返してくれる。子どもからあいさつができるとなおよい。 ・下校時は元気だが、朝は元気がないように感じられる。	B
2 生徒指導 基本的生活習慣	○学校は、いじめ・不登校のない温もりのある学校づくりに努めている。 ○学校は、児童のことをよく理解し、相談事や悩み事などに適切に対応している。 ○学校は、きまりや社会のルールを守ることなど、規範意識を育てる教育に努めている。	○取組 ・学校アンケートの実施 ・教育相談 ・毎月の生活習慣調査 ・あいさつ運動の実施 ・全校遊びやファミリー班活動の実施 ○評価結果 教職員の肯定的評価(100%) 児童の肯定的評価(87%) 保護者の肯定的評価(95%)	【生徒指導・基本的生活習慣】 ・日頃から児童の観察や児童理解に努めるとともに、生活リズムチェックカードや学校アンケートを活用し、規則正しい生活の定着といじめのない学校を目指してきた。いじめに対しては積極的に認知をして早期解決するという考えのもと12月に1件いじめ事案として認知・対応している。 ・今年度教育相談を学級担任以外が行う機会を設けた。それ以外にも全教職員で全児童を見守る意識を持ち、細かな情報交換・共有を日々行った。	・不登校児童への対応をお願いしたい。また、不登校児童だけでなくがんばって登校している児童にも配慮し気持ちよく登校できる環境作りに取り組んでほしい。 ・すくすくと素直に育っているように思われる。 ・普段学校に来ることがないので、子どもたちの様子がわからない。	B
3 学習指導課程	○学校は、児童に分かりやすい、丁寧な授業に取り組んでいる。 ○学校は、地域の特色を生かした、問題解決的な学習や体験的な学習に取り組んでいる。	○取組 ・一人一人に対応した授業改善 ・補充学習や個別指導による基礎学力の向上 ・家庭学習時間調査の実施 ・「わくわくチャレンジ」の実施 ○評価結果 教職員の肯定的評価(100%) 児童の肯定的評価(100%) 保護者の肯定的評価(100%)	【教育課程・学習指導】 ・児童がより主体的に取り組めるように、週末の課題に「わくチャレ」を取り入れた。個人差はあるものの意欲的に取り組む姿が見られる。 ・外国語活動(科)の授業研究に全校で取り組んでいる。表現力の育成を目指して取り組む中で、外国語活動(科)以外でも表現する楽しさを味わおうとする姿が見られるようになってきている。 ・総合的な学習の時間を中心に、ふるさとを知り、誇りに思う児童の育成に努めた。継続して取り組んできたことで児童の意識も高まっている。	・週末に「わくチャレ」に一生懸命に取り組む姿は、よいと思う。	A

裏面あります。

	具体的項目	取組 自己評価 外部アンケートの結果	成果・改善	関係者評価委員の 評価・意見等	評定
4 健康・安全管理	○ 学校は、児童の保健指導や給食指導など、児童の健康・安全教育に適切に取り組んでいる。 ○ 学校は、施設や教育環境を児童の安全・安心な学校生活のために適切に管理している。	○取組 ・日々の保健指導、給食指導の実施 ・避難訓練の計画的な実施 ・施設や学校環境の安全点検 ○評価結果 教職員の肯定的評価(100%) 児童の肯定的評価(88%) 保護者の肯定的評価(100%)	【健康・安全管理】 ・生活リズムチェックカードで早寝早起き朝ごはんの習慣化を図ったことが、普段の生活にもよい影響を与えている。 ・避難訓練を毎月1回行った。火事、地震、土砂災害などいろいろなシチュエーションを想定し様々な状況に応じた対応ができるように取り組んでいる。 ・定期的な安全点検や日々の保健指導の徹底に努めることで、児童は大きなけがをすることもなく元気に活動することができた。	・朝ご飯はしっかり食べてほしい。 ・保護者と子どもの意識にギャップがあるのではないかな。 ・携帯(スマホ)の所持のきまりを知りたい。→学校への持ち込みはなし。	A
5 地域との連携	○学校は、教育方針や学校での子どもたちの様子を保護者や地域に分かりやすく伝えている。 ○学校は、望ましい家庭学習や読書活動、生活習慣の育成を図るために、保護者や地域と連携・協力した教育に取り組んでいる。	○取組 ・学校だより、学年だより、ホームページ等での情報発信 ・年間を通じた地域の方や老人会との連携 ○評価結果 教職員の肯定的評価(94%) 児童の肯定的評価(92%) 保護者の肯定的評価(98%)	【保護者・地域との連携】 ・ホームページ、マチコミメール、学校便り、学級通信等で情報を発信した。 ・週末には、数冊の本を持ち帰ることを習慣化し、読書ができていると答えた児童が92%とになっている。学年に応じた質や量の読書ができるように家庭とも協力して、今後も支援していきたい。 ・コミュニティ・スクールになり、総合的な学習の時間のゲストティーチャーや果樹農家との交流が円滑に行われている。継続してきた老人会とのしめ縄飾りづくりなども行うことができた。	・SNSやタブレットを読むことが増え、紙の本を読むことが少なくなっているのではないかな。漢字の読み書きや、送り仮名が正しく使えていない子が増えているように感じる。 ・鉛筆の持ち方や下敷きを使うといった基本的な勉強習慣を身に付けるとよい。 ・学校便りが白黒で見にくいのでカラーにできるとよい。ホームページが毎日更新されているのはすばらしい。	A
6 その他	○保護者として、学校からのたより(学校だより・学級だより・保健だより等)や配布物などをきちんと読んでいます。 ○保護者として、学校行事やPTA行事に積極的に参加しています。 ○保護者として、児童から学校の様子を聞いたり、悩みの相談にのったりしている。	○取組 ・参観日、個人懇談等での家庭との連携 ・運動会、学習発表会等の学校行事への協力依頼 ○評価結果 児童の肯定的評価(85%) 保護者の肯定的評価(97%)	【その他】 ・保護者、地域の方々が協力的で、参観日の出席率も高く、運動会や学習発表会等も多くの方々に観覧していただいた。 ・保護者あての配布を、紙かマチコミ(web)で行っている。より効率的で効果的な方法を検討していきたい。 ・保護者アンケート結果や記述内容からも学校の取組に対して好意的に受け取られていることが分かる。しかし、否定的な回答や「わからない」という回答もある。アンケートだけでは見えてこないこともあると思われるので、今後も児童・保護者に対して丁寧に対応する必要がある。	・だいたいできている。	B